



センター通信

〒 123-0873 東京都足立区扇 1-12-20
TEL (03)3856-2728 FAX (03)5939-7880
URL www.wfc.or.jp

第14回チャリティー大バザーを終えて

7月10日(日)に聖心インターナショナルスクールを拝借して、開催致しました。例年土曜日の開催を、土曜日が登校日となる学校が増えた関係で、今回から日曜日の開催と致しましたが、幸いにもお天気に恵まれ700名余の方が来場されました。

後援者より沢山の寄付物品をお送り頂き、毎週1回ボランティアの方々が仕分けをして、販売品の準備に励みました。ご家庭では必要が無くなった品物でも、利用者や施設では役に立つ品は利用し、それ以外の品を、エアコンの無い倉庫にて明るく楽しげにお喋りをしながらも、手は休めず仕分けをされるボランティアの方々には、多いに助けられました。

又、多くの企業にお声をかけてラッフルの賞品や販売品をご寄付頂きました上、赤坂飯店やS&B食品、もぎ豆腐の販売も致しました。NGOの方々にもお声を

かけて、広報や収益のお手伝いをさせて頂きつつ、寄付もして頂きました。元職員がこのバザーの為に品物を準備し、収益を全て寄付して下さったり、ワークショップでは、お買い物等の合間にトートバッグ作りを楽しんで頂きました。

当日のボランティアは200名ほどで、聖心の同窓会を始め、足立区のボランティア団体や株式会社アクシスの社員、役員や職員の友人等多岐に渡る方々がお手伝い下さいました。皆様が気持ちよく売り子等をして下さったお蔭で、これだけ盛大なバザーが成り立ったと思っております。

職員も通常業務に加えて、積極的に関わって下さり、多くの後援者ボランティアと共に、正に皆の力が結集したチャリティー大バザーでした。皆様のご協力に改めて感謝申し上げます。

青少年福祉センターバザー後援会

センターの店

前回より、口の字型の売場を設けることにし、準備もそれに合わせて段ボールにビニールテープを色分けして貼るようになっていきました。壁に色分けの内容を貼り、それを見ながらの仕分けでしたが、段々と手際も良くなってきた気がします。衣類は、ハンガーに掛けて売ると机にての販売用とに分けたのも良かったと思っています。ホワイトエレファント用には、1つずつ値段をつけていきました。

売場は、地下1階と地下2階に別れ、ホワイトエレファントは、地下1階でNGOのお店と一緒に部屋でした。今まで多大なご支援をして下さった中村玲子様が、ご主人のお仕事の関係で海外に行かれてしまいましたが、ご親切にご友人方にお声をかけて下さり、商品を並べ、当日も朝早くから準備をし、販売して下さいました。ホワイトエレファントを楽しみにご来場される方も多く、一時はバーゲン売場の様でしたが、皆様が連携して下さいったお蔭でお客様も満足されたでしょう。食品販売も渋谷法人会の有志の皆様が売り子をして下さり、とても助かりました。地下2階のセンター店では、沢山のボラ

ンティアの方に助けられ、各売り場でそれぞれ工夫を凝らして売って頂きました。

ご寄付の品物のみでの販売が出来るというのは、如何に多くの後援者に恵まれているのかを改めて実感し、感謝しております。

前日、当日は多くのボランティアと職員と協力して、商品の搬入・搬出・展示、お客様のニーズに応え乍ら笑顔での販売と、かなりの体力・気力を消耗しましたが、皆様のボランティア精神に触れて、嬉しい1日でもありました。

担当 ボランティア



食品コーナー

食品部門では、天候に恵まれたことにより多くのお客様が来場して下さり、客足が途絶えることがなく目が回るような大盛況ぶりでした。当日大変暑かったということもあり、冷やしうどんやタピオカジュース等、涼しさを感じられる夏らしい食品を購入されるお客様がたくさんいらっしゃいました。今回新たなメニューとして出したホットドックは、事前に試作品を清周寮でも作成し、利用者からも「美味しい!」との感想があったので、新商品として販売しました。小さなお子さんが親御さんから買い物を頼まれて、お金を握りしめて買いに来られるというとても微笑ましい場面もありました。



食品を販売するスタッフも、職員だけでなく利用者やボランティア等、多くの方のお力添えを頂きました。また、お客としてバザーに参加してくれた利用者もあり、自分で稼いだお給料の限られたお小遣いで何種類もの食品を購入してくれました。参加してみて、「食べ物は全部美味しくて、自分の残りのお小遣いの全てを費やしたが、悔いはない。次も参加したい。」と言ってくれました。

また、食品部門で使用した食券は清周寮の利用者にも手伝ってもらって作成しました。普段の生活の中では、触れることがない作業や職員の役に立てることに喜びを感じてか、皆が率先して、楽しそうに作業にあたってくれました。私達職員も、そのような普段見たことがなかった利用者の姿を見ることができ、これからもそのような利用者の見たことがない部分を引き出していきたいと感じました。食品部門の準備、販売にあたりお力添えをいただいた皆様に心から感謝申し上げます。

担当 清周寮 おうぎ寮

ラッフル抽選会

今年も沢山の企業さま、後援者のみなさまからご協賛頂き、多くのラッフル抽選会の商品を揃える事ができました。企業さま、後援者のみなさまのいつも温かいお心遣いと支えのお陰で、チャリティー大バザーの目玉企画でもあるラッフル抽選会を今年も無事に実施する事が出来ました。



参加されたお客様からも「今年の景品は何があるかしら?」「ラッフル抽選会毎回楽しみにしている。」等の声が寄せられ、お忙しい中多くのお客様がラッフル抽選会に足を運んで下さいました。また当選されたお客様の嬉しそうな表情をラッフル担当として間近で見る事ができ、人と人との繋がりや関わり大切さを実感し、とても嬉しい気持ちになりました。

また青少年福祉センターの卒業生も多く参加し、チャリティー大バザーに駆けつけてくれました。久々に会う卒業生達は、当時の面影を残しつつ、大人へと立派に成長しており社会人として活躍している者ばかりでした。ラッフル抽選会場で、当時の思い出話をしながら楽しそうに抽選に参加している姿を見て、2年に1度ではありますが、こうした場を今年も提供できた事、一緒に参加できた事にとても有難く感じました。参加して下さい方と協力して下さい方がいて、始めてチャリティー大バザーが成り立つという事、ラッフル担当として改めて学ばせて頂きました。

多くのみなさまのご協力で今年もチャリティー大バザーを大盛況で終了させる事が出来ました。この場をお借りし御礼申し上げたいと思います。みなさま本当にありがとうございました。また次回も是非遊びに来て下さい!!

担当 暁星学園

お祭り広場

今年のチャリティー大バザーは新たに入職した若い職員が多く、お祭り広場の企画からゲーム当日までの作業一つ一つが手探りでスタートでした。



前日は、お祭り広場に子どもたちがどれくらい来て下さるのか、ゲームを楽しんで頂けるのかと期待と不安が入り混じる複雑な気持ちでしたが、当日は天候に恵まれ、たくさんのお客さまに来場いただくことができました。例年、午前中はお子様の来場者が少ないのですが、今年は午前中から多くの子どもたちがお祭り広場に遊

びに来てくれ、一日中、子どもたちの足が途絶えることがありませんでした。また、今回初めてゲーム券6枚を500円で販売しました。これにより、お祭り広場の売り上げに効果を発揮しただけでなく、何度も遊びにみえた子どもたちも多くいらっしゃいました。たくさんのお子様の笑顔に触れ、職員やボランティアさんも笑顔になり、本当にみんなが楽しめるお祭り広場になったのだと思います。

全ては関係企業様、後援者の皆様のご協力とご助力があつてこそです。この場を拝借して御礼申し上げます。

担当 長谷場新宿寮 あけの星学園

第14回チャリティー大バザー収支報告

収入		支出	
寄附金	2,364,500	通信費	11,020
ラッフル券	2,593,600	賞品送料	27,864
センター店	917,770	消耗品費	8,743
食堂・食品販売	521,310	印刷費	99,360
ホワイトエレファント	822,060	交通費	72,705
お祭り広場	45,600	材料費	89,899
出店	39,030	保険	37,010
本部・長谷場先生著書	4,000	雑費	195,871
総収入	7,307,870	総支出	542,472
		純益	6,765,398

本バザーに協賛して下さった皆様に、厚く御礼申し上げます。

愛星くびの会
赤坂飯店
株式会社アクシス
あしたば作業所
憩いの園在日協力会
石井食品株式会社
株式会社インターナショナルジュエリーアート
株式会社ウィンズ
株式会社植田商店
エスビー食品株式会社
カバヤ食品株式会社
川名商店
き・ら・ら
ケニア紅茶
COMMUNE
国際ソロプチミスト東京一弥生
株式会社三栄コーポレーション
株式会社サンベルクス

サンヨー食品株式会社
株式会社サンヨー堂
株式会社シービージャパン
株式会社ジュンアシダ
清月堂本店
セイコーウォッチ株式会社
聖心会及び同窓会
第一サービス
千代田キワニスクラブ
チロルチョコ株式会社
テスコム電機株式会社
テレーズ
東京厚生信用組合浅草支店
社会福祉法人東京福祉会
東京ロータリークラブ
東京早稲田ロータリークラブ
東通工業株式会社
株式会社虎屋

ナイトウ総合計画事務所
ななの会
株式会社似鳥工務店
株式会社ニッセン
公益社団法人日本動物福祉協会
ネスレ日本株式会社
フィランソロフィー国際 LEO 協会
株式会社フォーラムエンジニアリング
富士ベッド工業株式会社
ブルーミング中西株式会社
Peony Blooms
株式会社ぷらう
株式会社ミズノ
明治安田生命保険相互会社
もぎ豆腐店株式会社
株式会社モスフードサービス
株式会社吉野家ホールディングス
リリーの会

敬称略・順不同

その他、多くの個人、団体の方からの沢山のご寄付、ご協力をいただきました。

近 況 報 告

自立援助ホーム 長谷場新宿寮のようす (定員男子 15 名)

新年度が始まり早くも夏を迎えようとしています。長谷場新宿寮では、今年度も多くの行事を催し、余暇活動の充実を図っています。



ゴールデンウィークには釣り・ボーリング・フットサル・東京散策・富士急観光行事と様々な行事を行い、6月には文化放送様、東京善意銀行様の招待にて野球観戦も行いました。夏には、那須旅行や海水浴などの行事を計画しています。様々な体験は寮生の貴重な経験となり、生活の充実に繋がります。

今後も苦楽を共に、長谷場新宿寮ボーイズは強く逞しく成長していきます！

自立援助ホーム 清周寮のようす (定員女子 15 名)

新年度が始まり、新人職員 1 名を迎え、日々寮生に笑いを提供しつつ、安心・安全に生活できるよう心掛けています。

近年学校に行く寮生が増えており、この春、高校に入学した児童が 4 名います。寮生自身が現代社会において学歴が重要であると感じ、自立後の事や将来の進学も視野に入れての事だと思います。寮生が夢を持ち、その夢を達成できるよう今後も、「自立した女性を育てる」を目標に、日々寮生と向き合っていきたいと思っています。



自立援助ホーム おうぎ寮のようす (定員 6 名)

今年度のおうぎ寮は児童の新入寮、職員の異動と変化のある新体制でスタートを切りました。そんな中、5月に卒寮生を招待して行う「おうぎ寮祭」を無事開催することが出来ました。当日は天候にも恵まれ、沢山の卒寮生たちが自ら築き上げた素敵な家族と共に、おうぎ寮という実家へ帰ってきてくれました。彼らと共に過ごした当時を振り返ると色々なことがありましたが、社会に出て頑張っている彼らの顔を見るとそんな苦労も嬉しい思い出に変わり私達職員にとってもとても幸せな 1 日となりました。



おうぎ寮は沢山の方々に支えられ子ども達と共に歩んでおります。これからも子ども達と共に日々成長できるよう精進して参りたいと思っております。

共同生活援助 ノエルのようす (定員 5 名)

今年 2 月に家庭復帰後、自立した利用者があり、今年度は 2 名の利用者、2 名の世話人で、かなり厳しい財政状況でのスタートです。

そのうちの 1 名はかなりの額の借金を抱えて入所してきましたが、職員の指導と彼女自身の努力で遂に昨年度末には、清算しました。今では、退所に向けて貯金を始めているほどです。利用者と給与や年金の使い方を細かく手帳につけたり、お弁当を作って昼食代を浮かしたりしながら、毎月少しずつ返済をして、1 年かけて返し終わったときには、バンザイと叫びたいほどに喜びあいました。

今は、退所に向けて貯金を始め、今年度末には自立できるようにと皆で助け合っています。



児童養護施設 暁星学園のようす (定員 36 名)



女子の GH であるほきまホーム（高校生 5 名）では、今年度より在日アフリカ人の野球チームとの交流を図り、神宮球場にて合同で野球の練習を行っています。アフリカのザンビアという国に海外青年協力隊で派遣された経験のある職員が、在日アフリカ人野球チームと連絡を取り実施している行事です。この職員は、高校でソフトボールの指導をしていた経験があり、ほきまホームの児童にも野球を教えています。野球をするのが初めての児童がほとんどですが、皆で野球の練習を楽しんでいます。

暁星学園では、フロア・ホームごとに様々な行事を実施しています。

児童養護施設 あけの星学園のようす (定員 20 名)

新年度に顔ぶれが変わった学園では、ゴールデンウィーク行事でそれぞれ交流を深め、7 月には伊豆大島で一泊する全体行事を計画しています。

今年度は受験生や就活生が多く、人生の節目に向けて頑張っています。

特別支援学校 3 年生の H 君は、中学 2 年で入所した時、話しかけられると物の後ろに隠れてしまう程の人見知りでした。それが今は、学校のサッカー部でキャプテンを務め、就労実習でも声が出るようになったと評価をいただけるようになりました。彼が内定へと繋げられるよう職員一丸となって支援していきたいと思います。



成人式のご報告



毎年恒例となりました青少年福祉センター成人式を、1 月 9 日（土）ホテル・ラングウッドにて執り行いました。当日は、新成人 54 名中 23 名が晴れ姿で集い、ご来場の皆様に祝福されました。諸般の事情により、一緒に過ごすことができなかったご家族の方や担当福祉司、当法人に入所する以前の関係者など多くの方が出席され、彼らの凛々しい姿に感激されていました。新成人一人一人が、壇上で挨拶を述べたおりには、感謝の言葉と共に、しっかりと今後の抱負も述べていました。退所後も社会の荒波にも負けずに自分を律し、成長している姿を見て私共も嬉しく、励まされました。人生の大切な

節目でもある成人式をこの様に行えるようになりましたのも、ご協力下さいました皆様方のお蔭と、感謝申し上げます。

ご協賛くださいました企業・団体の方々に感謝申し上げます。

一般社団法人いけばなインターナショナル東京支部／株式会社コスモス／国際ソロプチミスト東京 - 青山／ゼブラ株式会社／国際ソロプチミスト東京 - 広尾／一般財団法人まちづくり地球市民財団／国際ソロプチミスト東京 - 弥生／株式会社タカキュー／東京西北ロータリークラブ／株式会社似鳥工務店／イオンエンターテイメント株式会社／マドラス株式会社／株式会社エキップ／株式会社丸昌／株式会社カタログハウス／株式会社モスフードサービス／株式会社カネボウ化粧品／株式会社吉田／京王プラザホテル／株式会社ロフト／京都きもの友禅株式会社／ホテルラングウッド

敬称略・順不同

平成 27 年度 決算書(資金収支計算書一部抜粋)(単位:円)

	勘定科目	法人合計	本部	長谷場新宿寮	清周寮	おうぎ寮	暁星学園	あけの星学園	ノエル
経常収入	児童福祉事業収入	600,118,835	0	54,932,410	54,782,910	27,868,195	286,277,508	176,257,812	0
	障害福祉サービス事業収入	6,073,343	0	0	0	0	0	0	6,073,343
	寄附金収入	32,292,322	23,283,722	2,660,000	2,869,000	860,000	355,000	661,600	1,603,000
	雑収入(受取利息含む)	16,937,549	2,750,198	3,841,971	1,741,298	475,923	5,586,979	2,294,407	246,773
	収入計	655,422,049	26,033,920	61,434,381	59,393,208	29,204,118	292,219,487	179,213,819	7,923,116
経常支出	人件費支出	361,518,261	18,821,841	32,877,498	36,890,408	24,193,666	156,651,468	87,001,719	5,081,661
	事務費支出	80,936,986	13,855,801	5,848,198	14,534,860	1,708,698	27,246,285	15,192,802	2,550,342
	事業費支出	80,725,797	0	6,970,168	4,825,352	1,550,406	42,046,006	24,495,769	838,096
	雑支出(支払利息含む)	8,934,195	617,142	1,337,500	926,577	420,140	3,700,018	1,911,509	21,309
	支出計	532,115,239	33,294,784	47,033,364	57,177,197	27,872,910	229,643,777	128,601,799	8,491,408
	経常活動資金収支差額	123,306,810	-7,260,864	14,401,017	2,216,011	1,331,208	62,575,710	50,612,020	-568,292

~~~~~ 香港から視察団が来所されました ~~~~~

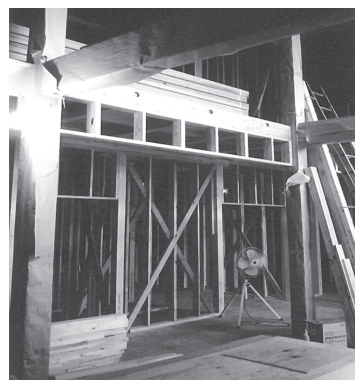
香港で保育園、ファミリーサポートなどの事業を行っている香港路徳会社会服務處の方々が、日本の児童養護と青少年支援を学ぶために青少年福祉センターを来所されました。その中でも、私たちが行っている自立援助ホームの取り組みが香港にはなく、とても新鮮であったようで、当初予定した時間を上回るほど多くの質問が寄せられました。我々も、そういった外部からのご意見をいただくことで、改めて自分たちが行っていることの意義について再確認することができました。



## 保木間地区建て替えプロジェクト

昨年12月から建替え工事を開始したほきまホームと清周寮は、いよいよ今年中に完成予定です。毎月変化していく新ほきまホームを今か今かと児童も職員もとても楽しみにしています。今まで隣にあった清周寮と一先ずお別れになり、仮ホームで児童6名と職員3名での新生活が今年度より始まりました。仮ホームでの生活になり、周囲の環境や通学経路、大きな変化がある中で、児童達は今までの生活スタイルを崩す事なく、1人1人自分達の生活を大切に、毎日学校に部活にアルバイトにとそれぞれ目標に向かって頑張っています。また仮ホームでの生活を通して、児童と職員がより一層協力し合い、それぞれが安心・安全に配慮し、安定した生活が出来るように心掛けています。

新ほきまホームに全員で元気に引越しが出来るように、健康に気をつけ日々児童の生活を見守って行きたいと思います。



工事のようす

# 編集後記

チャリティー大バザーへはたくさんの方にご来場いただきまして、誠にありがとうございました。入口から会場への廊下に写真が貼ってあったのにお気づきになりましたでしょうか。現在当法人アフターケア委員会にて、青少年福祉センターの歴史の振り返りと資料整理を行っております。その中で出てきたセンター創設時からの写真を展示しました。古くからご支援下さっていた方など、当時を懐かしんでおられる様子も見受けられました。

